

Quasar OptiX屋外施設向け光ファイバー用ケーブル

アーマー層、防水層、および厚く堅牢なジャケットで強化されたQuasar OptiX屋外施設（OSP）向け光ファイバー用ケーブルは、特に極端な温度条件を伴う過酷な環境において、機械的損傷を防止し、ケーブルの故障につながる水の侵入をブロックします。OSP光ファイバーケーブルは、敷設時や長期に渡る使用中のファイバーの損傷や信号劣化を防ぎ、信頼性の高い性能を保証します。

利点と特徴

埋設または架空アプリケーションにおける視認性と耐久性を実現
耐久性に優れ長持ちする明るいオレンジ色ストライプの配色により、日光、汚れ、湿気に長時間さらされていてもすぐにケーブルを見つけることができます。

水の侵入や信号損失を防止

5つの保護レイヤーが水の侵入をブロックするバリアを形成し、水による損傷や信号損失からケーブルを守ります。

終端処理とスプライシング処理をスピードアップ

赤/白ストライプのケーブル仕様により、作業者はケーブルジャケットを素早くきれいに剥くことができ、設置と修理にかかる時間を短縮できます。それにより、繊細な光ファイバーが設置中に損傷するリスクを最小限に抑えます。

最小曲げ半径	温度定格
取り付け:20 X D	取り付け:-30～+60°C
動作:10 X D	動作:-40～+70°C
ねじり:± 180°	保管:-40～+70°C

取り扱いおよび設置時の複雑さを軽減
ケーブル設計の簡素化により、ケーブル開口作業時の怪我のリスクを軽減し、取り扱い手順の複雑さを抑制します。

ファイバー損傷のリスクを最小化
耐屈曲性のケーブル仕様により、導管、ダクト、架空、埋設経路に容易に取り回しが可能な、非常に汎用性の高いケーブルです。

-40～+70°Cの温度環境において信頼性の高いケーブル動作を保証

耐久性のある外面ジャケット仕様と耐熱素材が、極低温あるいは極高温下でのケーブルの亀裂、脆性、変形を防ぎ、屋外でも信頼性の高い性能を実現します。

各ファイバーの曲げ、配線、および処理を簡素化

非常にフレキシブルなバッファーチューブの採用により、設置やスプライシング中に誤ってファイバーが損傷したりずれが生じたりするリスクを低減します。



Quasar OptiX屋外施設向け光ファイバー用ケーブル ➤

市場と用途

電気通信

架空プロードバンドシステム
プロードバンドサービスの導入
データセンター相互接続
直接埋設プロードバンドサービス
分散アクセス/リモートPHYシステム
FTTXアーキテクチャ
長距離輸送システム
標準/マクロ/マイクロダクトシステム



架空プロードバンドシステム



スマートグリッドシステム



ワイヤレスバックホール技術

ネットワーク

キャンパスネットワークインフラストラクチャ
運輸局の交通管理システム
Fiber to the home (FTTH) デバイス
セキュリティネットワーク
スマートグリッドシステム
監視ネットワーク

ワイヤレスインフラ

無線アクセสนットワークデバイス
スマートセルバックホール技術
ワイヤレスバックホール技術

仕様

ケーブルは少なくとも以下の性能仕様に適合します：

IEC 60793-1、IEC 60793-2、IEC 60794-3-10、ANSI/ICEA S-87-640、Telcordia GR-20、ITU-T

ケーブルファイバー数：

1本～1,728本

ケーブルジャケットのオプション：

誘電体、シングルジャケット/シングルアーマー、ダブルジャケット/シングルアーマー、マイクロダクト、超薄型マイクロダクト、
フラットおよびフラットアーマー

www.molex.com/ja-jp